

科学の花（朝永振一郎）（国立科学博物館）
ふしぎだと思ふこと　これが科学の芽です
よく観察してたしかめ　そして考えること
これが科学の茎です
そうして最後になぞがとける
これが科学の花です

朝永は東京教育大学（現・筑波大学）学長に務めていた時も、しばしば寄席に通われたそうです。ノーベル物理学賞（1965年）の授与が決定して、朝永は祝い酒で酩酊して風呂場で転んで肋骨を折ってしまい、その年のストックホルムでの授賞式に行けなかった。そこでお弟子さんに一言。「ノーベル賞をもらうのは骨が折れるよ」

（科学者という仕事—独創性はどのように生まれるか：酒井邦嘉著、中公新書、p 110、上野：国立科学博物館）